

三重大学「学生海外チャレンジ応援事業」報告書

計画タイトル
日本と他国の授業や教材の違いは？

学生情報	
氏名	百留駿人
所属学部・研究科	教育学部英語科
学年(出発時)	3年

渡航先情報	
渡航先	アメリカ サウスカロライナ州
渡航期間	2023年2月12日 ~ 2023年4月1日
訪問先機関等	サウスカロライナ大学 (English Program for International)
訪問先機関での身分	学生

渡航概要と内容
<p>サウスカロライナ大学の留学生クラス通称EPI(English Program for International)に在籍していた。ここでは英語が第一言語ではない様々な国の生徒がそれぞれの目的のために英語を学ぶ場所である。僕が知る限りでは中国、台湾、韓国、ベトナム、サウジアラビア、トルコから来た学生がいた。授業は月曜から金曜日毎まで日あり、1限Writing Grammar(9時~10時20分)、2限Reading Vocabulary(10時40分~12時)、3限Speaking Listening(13時20分~15時)で構成されている。ただし金曜日だけは3限がなく12時で終わりである。それぞれのクラスが6段階のレベル(level1~6)で構成されているがlevel1,2で1つのクラスといった感じで、授業ごとにクラスのメンバーが変わる。それぞれの国の子と話す機会がありどうして英語を学んでいるのか？や自分の国での英語の授業はどのような感じなのかを聞くと、どこの国も日本と同じ様な感じでスピーキングやリスニングに力は入れられていなかったみたいである。だからこそ自分で留学をしに来たという学生がほとんどであった。アメリカの学生に聞く機会があまりなく教材などを見ることはできなかったが、アメリカの授業を体験できた。アメリカ人の先生の授業も体験することができた。僕が受けた授業が本当のアメリカ人が受けている授業なのかは分からないが、自由というのを強く感じた。生徒がお菓子を食べてもOK、先生が食べてもOK、トイレに行くのも無言で自由に授業中に外に出ていっていいなど、日本の授業とは大きな違いがあった。どちらがいいのかは確かなことは言えないが、個人的にはアメリカの授業スタイルが好きである。気楽に授業を受けることができる。もちろん、こういったことをして授業の進行の妨げになるようではよくないと思う。</p>

渡航により達成できたこと
<p>計画が他国の生徒に聞かなければならないことだったので積極的に声をかけることを心掛けていた。そのおかげもあり、英語を話すということにあまり抵抗がなくなった。行く前は、間違った英語を話したらどうしよう、といった不安があり、あまり自信をもって話せなかったが、たくさんの人と話していくうちにそういった緊張や不安は少し取り除かれた気がする。とりあえず何か話してみよう！というメンタルに変わった。個人的にこの留学期間は毎日必ず誰かと話して英語を使うということを目標にしており、それも達成できたので良かった。休みの日も一人で外出をしたり友達と出かけたりなどして英語を使う機会を強制的に増やした。</p>

渡航を通じて感じたこと・学んだこと

“アメリカ”という国の自由さ、明るさを何よりも感じた。日本と違うところをたくさん発見できたし自由でとらわれていない感じがすごいラフで心地よかった。日本人はどうしても周りの目を気にしたり、どこか窮屈な部分がある。例えば、アメリカの学校の先生でも髪型はもちろん自由、ピアス、タトゥーもOKである。これも一つの異文化であると思う。自由を求めてアメリカに移住する日本人の気持ちが分かった気がする。もちろん考え方や物事の当たり前というのも違ったので、いろいろと困る部分はあった。また、今回の渡航を通じて日本人の優しさや日本食のおいしさも改めて感じる事ができた。一人で海外で暮らすことができて自分自身の人間力に自信がついた。怖くないという自信もついた。他には、僕が思っていたほど治安は悪くなかった。サウスカロライナ州は都市部ではないので比較的生活がしやすかった。英語力に関して学んだことといえば、一か月半であったので飛躍的に英語力が上がることはなかったが、会話のボキャブラリーが増えたとし、アメリカでは通じない発音や単語の意味の齟齬も学ぶことができた。

今回の経験を今後の学修及びキャリアパスの中でどのように活かしていくか

今回の経験は自分の中でとても貴重な出来事であったと思う。自分がずっと行きたかったアメリカに行くことができたし、多くのことを学んだ。知らない英語表現だったり知らない英単語もたくさん学ぶことができた。渡航前よりは多少耳が英語に慣れていると思うので、引き続きリスニングの練習をし、外国人と話す機会を作っていきたい。そのためには三重大の留学生と友達になることが一番早いのかなと思う。英語を話さないとしても英語力は下がってしまうので今更ではあるが、留学生と話す機会を探したり、TOEICやIELTSなどの試験を受けて定期的にモチベーションの維持にも努めたい。日本にいたとしても英語を使う機会を作っていかなければならない。そして将来教師になった時に流ちょうな英語を話すことができるようになっておかなければならない。第二言語の習得の難しさを改めて感じたのですべての第二言語を学習している人に対してリスペクトを忘れずに頑張っていきたい。

この事業での渡航を考えている学生へのアドバイス

もし今何かしらの理由で海外に行くことを迷っている人へ、絶対行くべきです。いや、絶対行ってください。あの時行っとけばよかったな—って社会人になってから思っても遅いです。必ず何かしらの学びがあります。僕もずっと留学はしたいと思っていたがなかなかする機会がなく3年生の終わりという時期になってしまいました。お金は高いし、ホームシックになりそうだし、友達出来るかわからないし、など様々な不安があるかと思えます。なんとかなります。僕も不安でした。そして親にもたくさんの借金をして行ってきました。お金がなさ過ぎて辛いです。でもこれは経験をお金で買ったようなものなので全く後悔していません。留学に行く機会は大学生のうちしかないと思います。人生の貴重な経験になります。僕もたった一か月半でしたが、たくさんの友達ができたし、楽しい色濃いアメリカライフを送ってきました。正直、なんとかなります。まったく英語が話せなくても行ってみたら案外なんとかなります。何も考えずに行ってなんとかなります。なるようになります。僕はそんな硬く考えずに楽観的でいいと思います。でも、英語の勉強ははしていったことに越したことはないです。何か困ったことがあれば何でも聞いてください。なんでも答えます。

計画全体にかかった費用(自己負担分も含めて、日本円で記載すること。)

渡航費	329,860円
保険料(海外旅行保険、国民健康保険等)	20,680円
学費(教科書代や大学等プログラム授業料等)	260,000円
宿泊費(宿泊タイプ:ホームステイ)	130,000円
光熱費	0円
食費	約80,000円
その他	100,000円
合計	920,540円